

令和4年度（2022年度）

# 渋谷区 当初予算案 概要

---

Overview of the original budget proposal for Shibuya City



# Contents

当初予算案概要	2
個別事業説明	6
1 新型コロナウイルス感染症対策	8
2 デジタル地域通貨事業	11
3 重層的支援体制整備事業	13
4 デジタルコミュニケーションプラットフォームの構築	15
5 スマートシティ推進事業	17
6 学校施設長寿命化計画に基づく学校施設整備	19
7 パラスポーツ・レガシー推進事業	21
8 一般社団法人渋谷ユナイテッドとの連携	23
9 グローバル拠点都市推進事業	25
10 プラスチック資源回収事業	27
11 ふれあい植物センター リニューアル事業	29
12 大山街道の街並みづくり	32
13 玉川上水旧水路緑道再整備	34
14 西参道プロジェクト	37
15 広報資料デジタルアーカイブ	40
16 高齢者デジタルデバイド解消事業	42
Appendix	45

# 当初予算案概要

# 令和4年度当初予算編成にあたって（考え方）

---

新型コロナウイルス感染症は、オミクロン株の発生により、年明け以降、急速な感染拡大が続き、まん延防止等重点措置の適用も全国に広がるなど、予断を許さない状況です。

本区は、区民の皆さまが一日でも早く安心して暮らせるよう、その対策に引き続き全力で取り組んでいく覚悟です。

令和4年度当初予算においては、まずは何より、区民の皆さまの安全・安心のため、12歳未満の子どもや3回目のワクチン接種体制の構築をはじめとした、コロナ対策に万全を期してまいります。同時に、区制施行90周年という節目の年を迎える本区は、基本構想や実施計画に掲げる各種施策を着実に実現させ、区民のウェルビーイング向上の実現に向け、未来を見据えた「人づくり」、「まちづくり」にも積極的に取り組んでまいります。

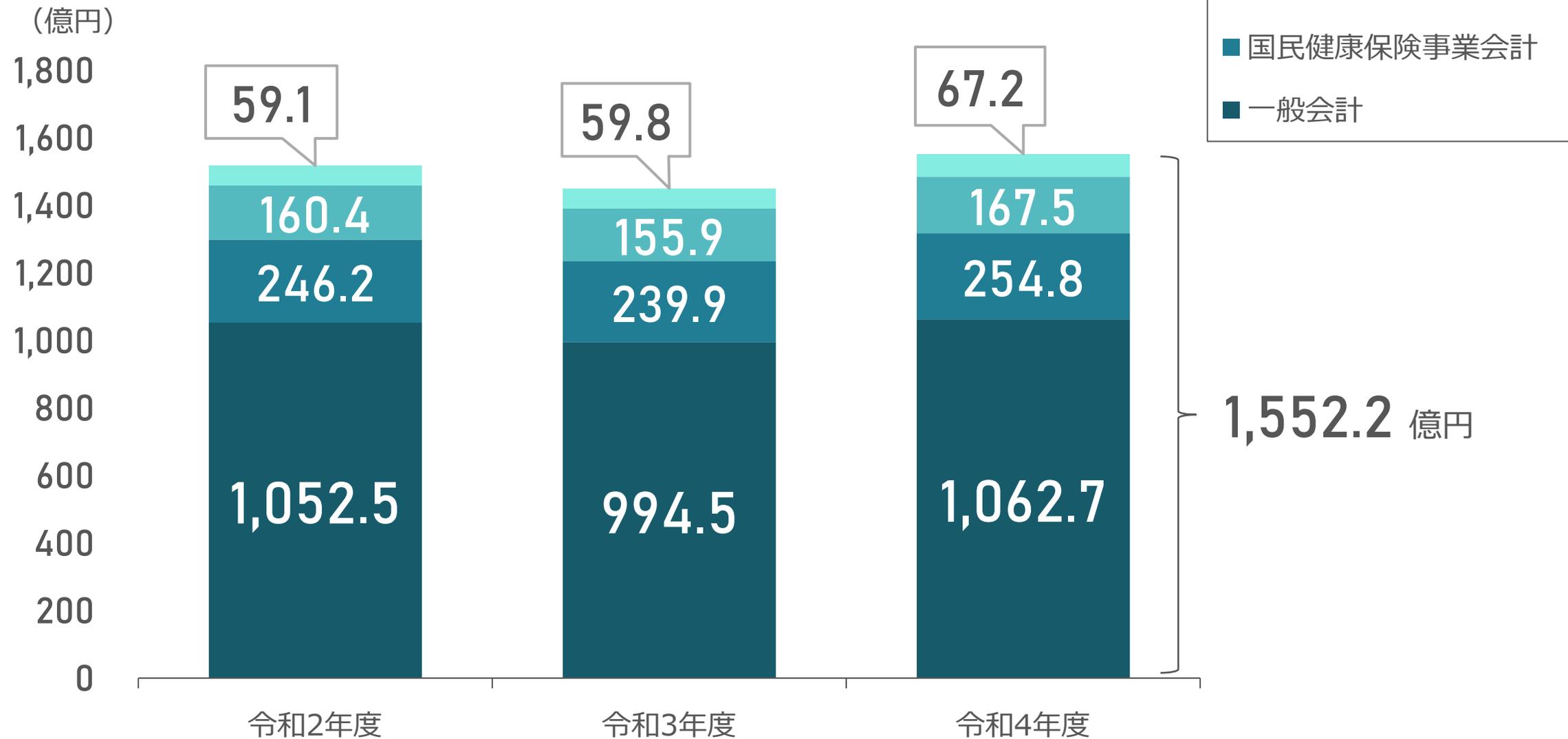
一方、我が国の経済状況に目を移すと、令和3年末の国の発表では「持ち直しの動きが見られる。」とされたものの、新型コロナウイルス感染症の第6波到来により、その先行きは再び不透明な情勢となっております。加えて、本区の財政状況においては、最重要財源である特別区税は、ふるさと納税に伴う減収が拡大の一途をたどっており、看過できない状況にあります。

このような中、行政課題の複雑多様化や公共施設の老朽化対策など、増加し続ける財政需要に対応していくためには、さらなる業務効率化や、新たな財源創出、民間活力導入の推進を図り、持続可能な行財政基盤を確保していくことが重要であると考えております。

このような考えのもと編成を進めた一般会計予算額は、総額1,062億6,700万円となり、対前年度比6.9%の増の予算規模となっております。

今後も、区民の皆さまが安全・安心に住み続けられるように、また、未来を見据え、本区がさらなる進化を遂げていくために、区政運営に積極果敢に取り組んでまいります。

# 財政規模

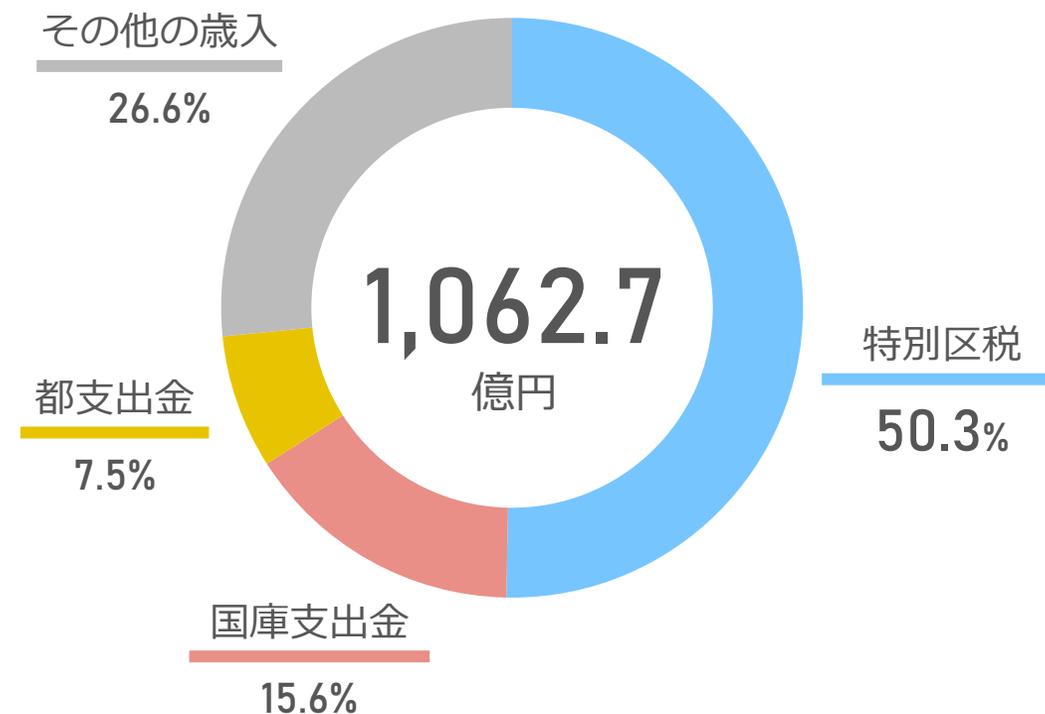


# 歳入内訳

一般会計歳入内訳表

	令和4年度 (億円)	増減率 (%)
特別区税	534.7億円	7.2%
国庫支出金	166.2億円	5.4%
都支出金	79.3億円	11.1%
その他の歳入	282.5億円	6.0%
総計	1,062.7億円	6.9%

一般会計歳入内訳構成比



# 個別事業說明



# 渋谷区制施行90周年

1932年

昭和7年



2022年

令和4年

# 令和4年度当初予算案事業シート

<b>基本構想ビジョン</b>	<b>ビジョン【関連ビジョン】</b>
思わず身体を動かしたくなる街へ。	C
<b>事業名</b>	<b>予算</b>
<b>新型コロナウイルス感染症対策</b>	<b>22億7,000万円</b>

<b>事業目的</b>	<b>事業概要</b>
-------------	-------------

新型コロナウイルス感染症は変異株が猛威を振るう中、いまだに予断を許さない状況である。

新型コロナワクチンの初回接種（1・2回目）は、速やかに多くの区民へ接種が完了するよう、大規模接種会場を設置し、多くの区民への接種がおおむね完了した。

追加接種（3回目）は、昨年末から開始し順調に進めているところであるが、低年齢層への感染が拡大しつつあり、コロナワクチンの小児接種が課題となっている。

希望する小児へのコロナワクチン接種を着実に進めるため、必要な体制を確保し感染拡大の防止に取り組んでいく。

<b>特記事項</b>
-------------

小児へのコロナワクチン接種は、複数の学校を会場とした集団接種と個別医療機関での接種の両面から、迅速かつ丁寧な接種を実行する。

◆新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業【拡充】

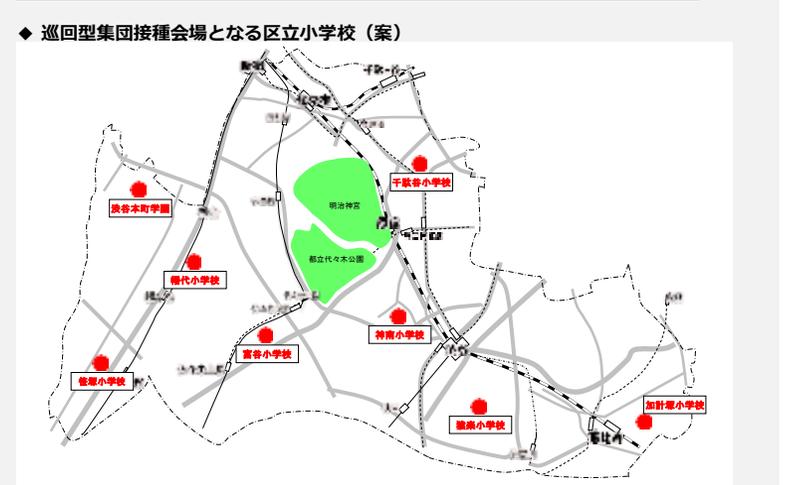
追加接種（3回目）については、確実に接種を行うこととし、小児への接種に関しては、速やかに接種が行われるよう、医師会及び医療事業者と協力し接種体制を整える。

- 追加接種（3回目）について
  - ・集団接種会場の設置、個別医療機関の確保
  - ・前倒し接種の実施
  - ・予約体制の拡充
  - ・広報の整備
- 小児接種（5歳から11歳まで）について
  - ・巡回型集団接種会場の設置
  - ・個別医療機関の確保
  - ・広報の整備

◆追加接種（3回目）

対象者	ワクチン	2月	3月
高齢者 (65歳以上)	ファイザー	8か月経過	6か月経過
	武田/モデルナ	6か月経過	6か月経過
一般 (18~64歳)	ファイザー	8か月経過	7か月経過
	武田/モデルナ	6か月経過	6か月経過

※追加接種（3回目）は、原則、2回目接種から8か月経過後に行う。  
 ※2月からは、武田/モデルナ社製ワクチンで前倒し接種を行う。  
 ※3月からは、ファイザー社製ワクチンでも前倒し接種を行う。  
 ※**基礎疾患患者**を含め、高齢者以外も前倒し接種を実施する。



# 新型コロナウイルス感染症対策

## 01 新型コロナワクチン追加接種（3回目）



**前倒し接種**の実施



集団接種会場の設置・個別医療機関の確保



広報の整備



予約体制の拡充

## 02 小児接種（5歳から11歳まで）



**巡回型集団接種会場**の設置



個別医療機関の確保



広報の整備

## 新型コロナウイルス感染症対策経費

主な内容	予算 (単位：百万円)	所管名
新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業 保健所体制強化（看護師派遣） 入院患者医療費公費負担金 感染症患者搬送 オンライン健康相談事業 等	2,512	健康推進部 地域保健課
デジタル地域通貨事業 中小企業資金融資利子補給金 文化・エンタテインメント産業活性化調査・研究 おいしい渋谷区プロジェクト 空き店舗活用事業 補助金・助成金自動診断システム 等	826	区民部 産業観光課
高齢者デジタルデバインド解消事業 在宅要介護者受入体制整備事業 等	327	福祉部 高齢者福祉課
住居確保給付金事業	102	福祉部 生活福祉課
民生委員ICT事業	23	福祉部 管理課
介護施設利用者等PCR検査事業 障がい者施設利用者等PCR検査事業	10	福祉部 介護保険課 福祉部 障がい者福祉課
サーマルカメラセットリース	8	危機管理対策部 防災課
文化芸術等配信事業	7	区民部 文化振興課
その他（消毒業務・感染症対策消耗品等）	33	
<b>総計</b>	<b>3,848</b>	

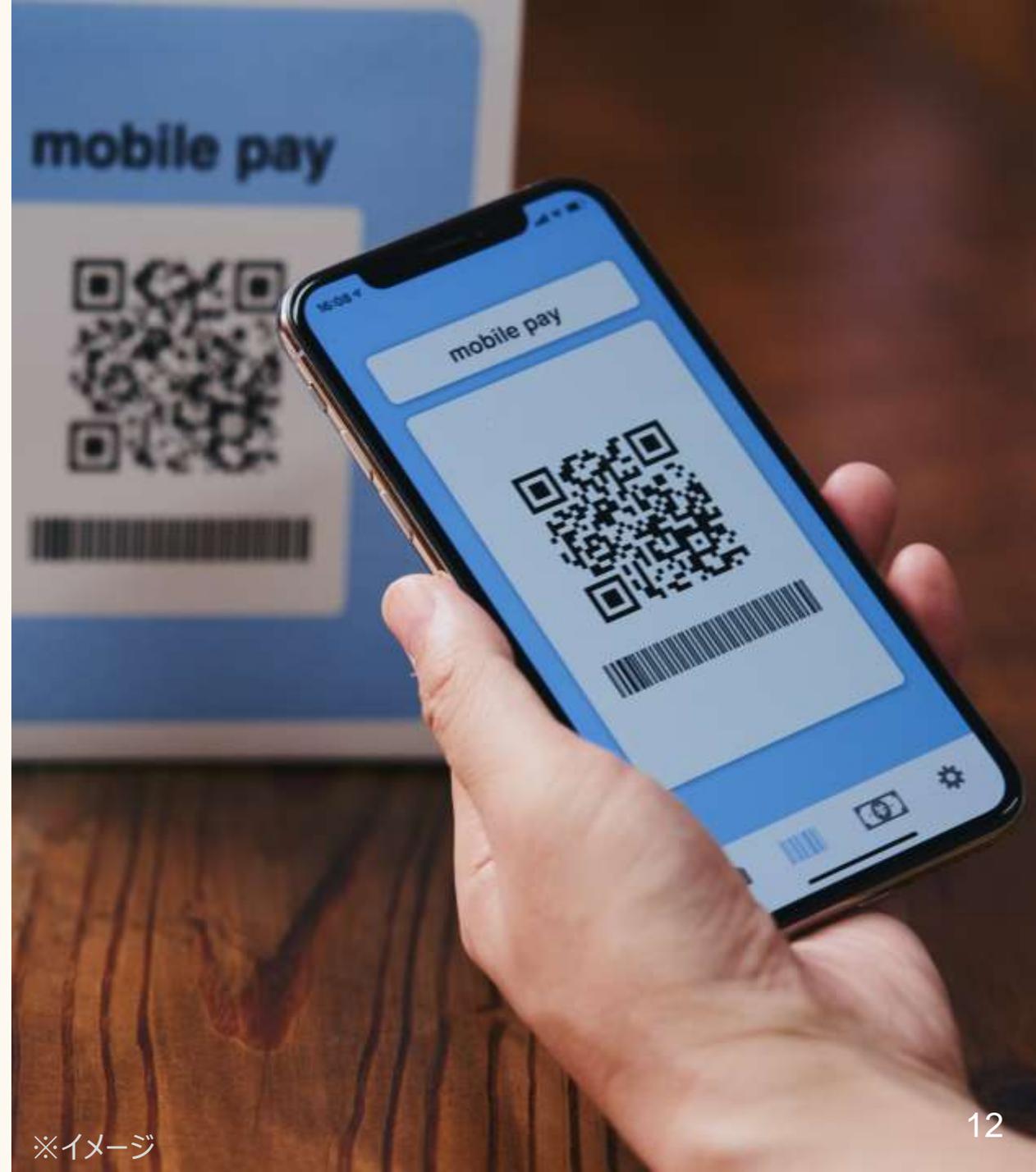
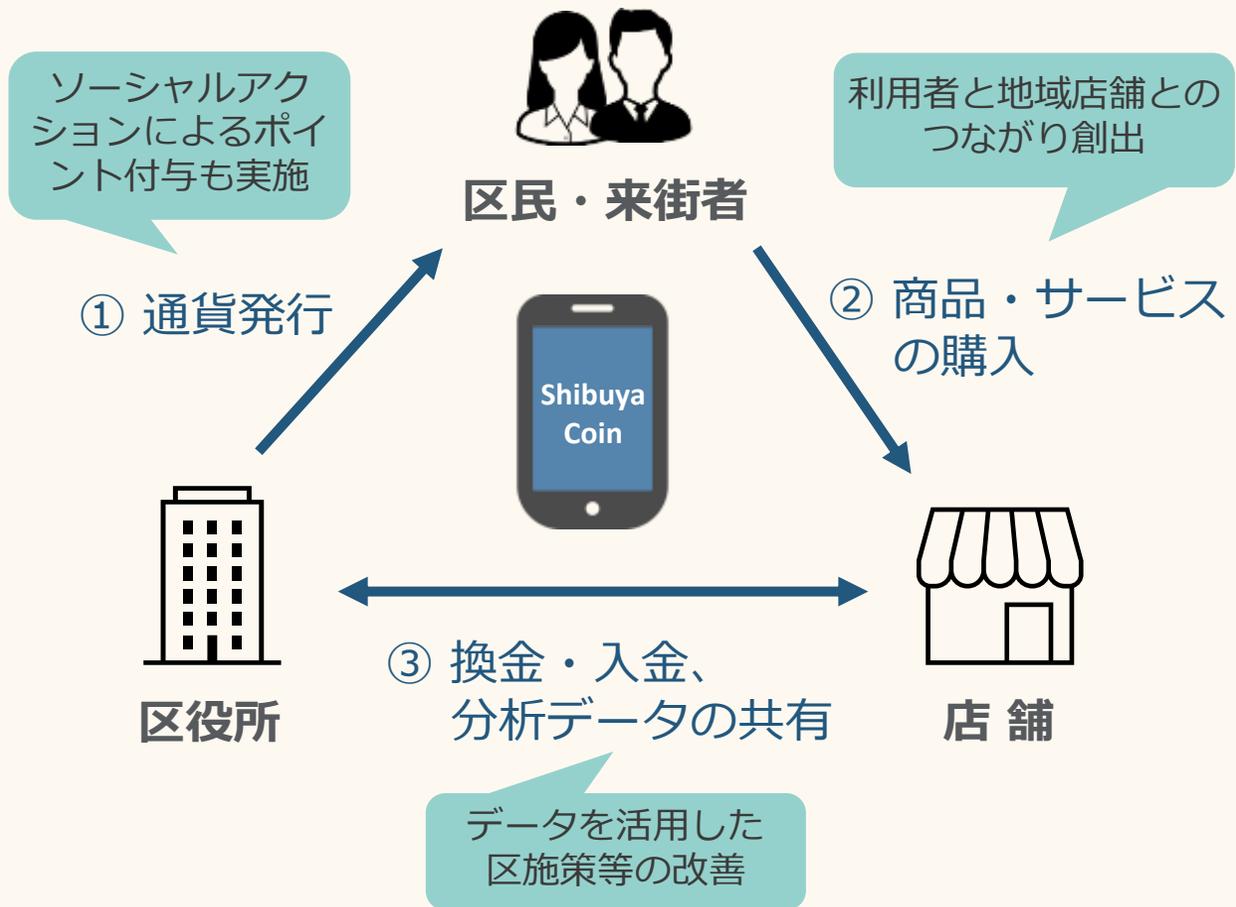
# 令和4年度当初予算案事業シート

基本構想ビジョン		ビジョン【関連ビジョン】
ビジネスの冒険に満ちた街へ。		G
事業名		予算
デジタル地域通貨事業		2億7,100万円
事業目的	事業概要	
<p>新型コロナウイルス感染症の影響によりダメージを受けている事業者を支援するため、特別融資をはじめ、消費活性化事業、感染対策グッズの配布など様々な支援を行ってきた。</p> <p>消費活性化事業については、キャッシュレス決済を活用したポイント還元事業を令和2年度から3回実施してきたが、還元されたポイントが区外でも利用できることや、区民への優遇が困難などの課題もあった。</p> <p>こうした課題に対応し、コロナ禍において、区民や来街者、企業、行政など多様なステークホルダーを巻き込みながら、渋谷区らしい持続的な産業振興を行っていくため、区独自のデジタル地域通貨事業を実施する。</p> <p>また、産業振興にとどまらず、区民生活支援やコミュニティの活性化、データの活用によるスマートシティ化などの総合的な推進を目指す。</p>	<p>区内の店舗で使用できる渋谷区独自のデジタル地域通貨を導入し、利用時に様々なインセンティブを付与することで、区内の産業振興を図るとともに、区の事業や地域コミュニティでの活用についても推進する。</p> <p>◆デジタル地域通貨の導入</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 発行者 : 渋谷区</li> <li>2 媒体 : スマートフォンアプリ</li> <li>3 対象ユーザー : 区民及び来街者</li> <li>4 対象店舗 : 渋谷区内にある店舗</li> <li>5 開始予定 : 令和4年9月</li> </ol> <p>◆キャンペーンの実施</p> <p>プレミアム付デジタル商品券や「くみんの広場」でのキャンペーンなど、様々なキャンペーンを実施する。</p> <p>◆地域活性化への取り組み</p> <p>ソーシャルアクションポイントのように、区の事業や地域活動への参加を促進するような仕組みを取り入れることで、地域課題の解決やコミュニティ活性化につなげていく。</p> <p>◆データを活用した効果検証</p> <p>デジタル地域通貨の利用状況やキャンペーンの効果などの様々なデータを蓄積・分析することで、産業や地域の活性化につながる事業としていく。</p>	
特記事項	<p>プレミアム付デジタル商品券等での活用だけでなく、ソーシャルアクションポイントとしても活用することで「産業」と「地域」双方の活性化につなげていく。</p>	

担当 区民部産業観光課長 本間 ☎3463-1761

# デジタル地域通貨事業

渋谷区独自のデジタル地域通貨を導入することにより、区内の**商店街や中小企業等の活性化**を支援するとともに、**コミュニティ形成**を促進する。



※イメージ

# 令和4年度当初予算案事業シート

基本構想ビジョン		ビジョン【関連ビジョン】
あらゆる人が、自分らしく生きられる街へ。		B
事業名		予算
重層的支援体制整備事業		5,000万円
事業目的	事業概要	
<p>社会福祉法の改正により令和3年4月に「重層的支援体制整備事業」が創設された。</p> <p>本事業は、これまでの支援体制では対応困難な複雑化・複合化した地域住民の課題に対応するため、「属性を問わない相談支援」「参加支援」「地域づくりに向けた支援」の3つの支援を一体的に実施することで包括的な支援体制を整備する事業である。</p> <p>渋谷区では令和5年度から「重層的支援体制整備事業」の実施を予定しており、令和4年度においては当該事業実施の前段としての具体的施策の検討、重層的支援体制整備事業実施計画の策定等を行う。</p>	<p>◆ 重層的支援体制整備事業に係る施策の検討、体制の整備等</p> <p>(1) 内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 重層的支援体制整備事業実施に向けた課題を解消するための具体的施策の検討等</li> <li>イ 関係機関・部署ヒアリング</li> <li>ウ ニーズ調査の実施</li> <li>エ 重層的支援体制整備事業実施計画の策定</li> <li>オ 重層的支援体制整備事業実施体制整備</li> <li>カ 先進自治体視察</li> </ul> <p>(2) 令和5年度以降の予定</p> <p>令和4年度に構築した体制により、本事業の本格稼働に移行</p> <p>(3) 関連法令</p> <p>社会福祉法</p> <p>(4) 参考</p> <p>全国で42自治体が重層的支援体制整備事業を実施（令和3年度）</p>	
特記事項	<p>◆ 関連事業</p> <p>地域福祉コーディネーターの配置（4人）</p> <p>※生活上の悩みや困りごとを抱える方に対し、様々な機関・団体と連携しながら、課題の解決を図るとともに、居場所づくりなど住民主体の活動の推進や、地域でのネットワーク構築などの取組を行う。</p>	

# 重層的支援体制整備事業



## 相談支援

属性や世代を問わず  
包括的に相談を受け止める

## 参加支援

地域・社会とのつながりを作るための支援を行う

## 地域づくり支援

属性や世代を超えて交流できる場や居場所を整備する

# 令和4年度当初予算案事業シート

基本構想ビジョン		ビジョン【関連ビジョン】
計画の実現と持続可能な行財政運営		H
事業名		予算
デジタルコミュニケーションプラットフォームの構築		1億2,000万円
事業目的	事業概要	
<p>ウィズコロナ時代を迎え、新しい行政サービスの在り方や非接触型社会化の促進に伴い、区民等とのデジタルコミュニケーションはますます重要となっている。</p> <p>一方、急速な少子高齢化や経済低迷の長期化、ライフスタイルの変化等により、利用者のニーズはますます多様化・高度化が進んでおり、真に利用者が求めるサービスを提供していくためには、利用者情報のきめ細かい把握と共有により、包括的に利用者ニーズに対応できる仕組みが必要である。</p> <p>本業務は、区民等との接点として専用のポータルサイトを構築し、個々のニーズや属性等に合わせて最適な情報や窓口を提供するとともに、登録された情報を統合的に活用するためのデジタルコミュニケーション基盤の導入により、複雑化・複合化する利用者一人ひとりに合わせて重層的に対応できる仕組みを構築し、区民サービスの向上や利用者満足度の向上、併せて業務プロセスの改善・効率化を図るものである。</p>	<p>◆事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶利用者専用のコミュニケーションポータルサイトの構築 個々の利用者のニーズ等に合わせて必要な情報を動的かつ効果的に表示されるポータルサイトを構築し、利用者との接点を最適化するとともに、検索の手間の軽減や情報の伝達漏れを防ぎ、必要な情報・サービスが届きやすい仕組みを整備する。</li> <li>▶利用者情報を統合的に活用するデジタルコミュニケーション基盤の構築 利用者本人の同意に基づき関連部署間で円滑に情報を共有し、組織横断的に360度支援ができる体制を整えていく。</li> </ul> <p>◆事業期間（予定） 令和4年9月～</p> <p>◆事業対象及び令和4年度以降の予定 令和4年9月一次リリース 子育て分野（渋谷区子育てネウボラ関連業務） 令和5年度 重層的支援体制整備事業への展開に向けて検討開始</p> <p>◆関連法令 社会福祉法</p> <p>◆根拠となる計画</p> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>・ 行政サービスのパーソナライズ化の推進</p> <p>認知型・提案型AIの導入等を含め、ICTを活用して、様々なデータを収集・分析することにより、個々の利用者のニーズのきめ細かい把握や確度の高い行政需要の予測などを行います。これらのデータをもとに各種行政サービスのパーソナライズ化・最適化を進め、利用者一人ひとりにあった情報を提供する仕組みを構築するとともに、新たな施策の提案に繋いでいきます。</p> </div> <p>▲「渋谷区長期基本計画2017-2026」P159より</p>	
特記事項		

**担当** 経営企画部 ICTセンター長 伊橋 ☎3463-1783

# デジタルコミュニケーションプラットフォームの構築



デジタルの活用により、一人ひとりのニーズへの最適化

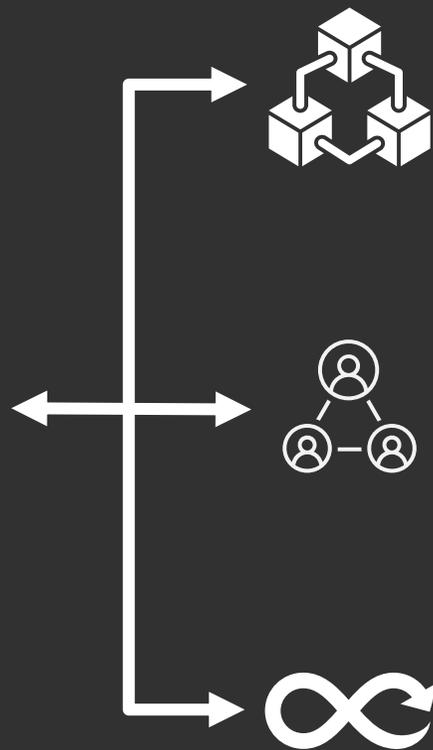
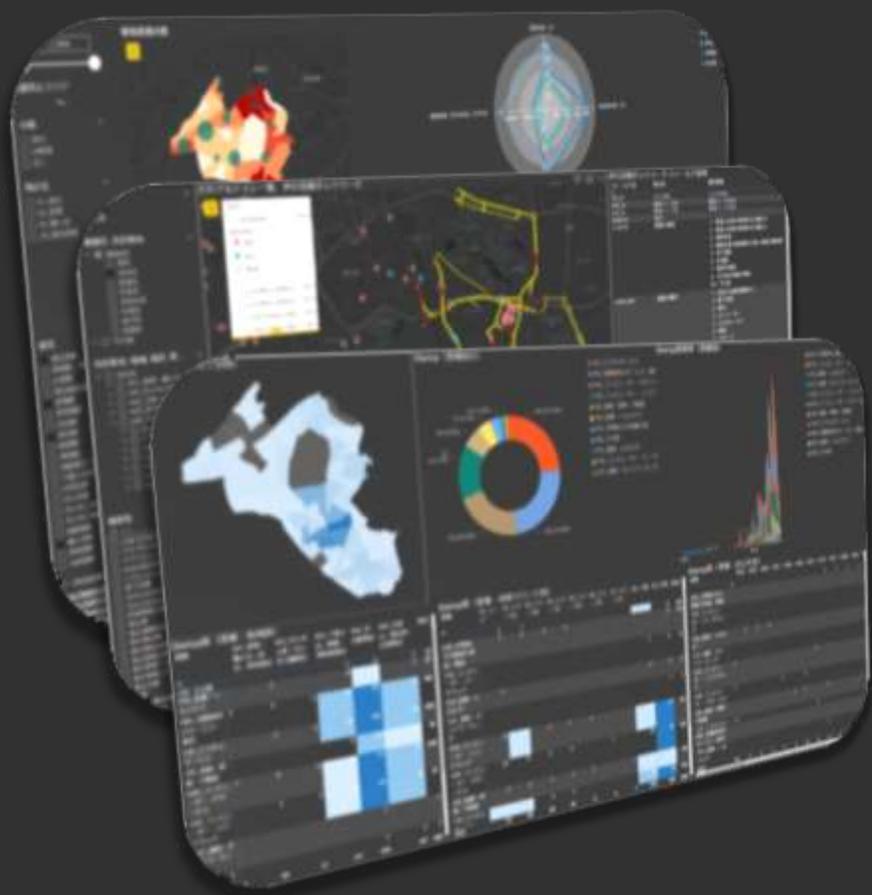
# 令和4年度当初予算案事業シート

基本構想ビジョン		ビジョン【関連ビジョン】
計画の実現と持続可能な行財政運営		H
事業名		予算
スマートシティ推進事業		1億2,000万円
事業目的	事業概要	
<p>都市課題が複雑化し、人々のニーズが多様化する昨今、デジタル技術を活用した産官学民の連携・共創と、データに基づく都市運営モデルの形成・推進が重要である。</p> <p>本事業では、デジタル技術やデータ利活用を通じて、産官学民の連携・共創を強化し、それぞれが保有するデータを相互に共有・利活用する仕組みを作ることによって、区の現状や対策すべき課題に対する共通理解を深め、地域課題解決に資するサービス創出を推進する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆「シティダッシュボード」のアップデート               <ul style="list-style-type: none"> <li>・利便性・実用性の向上 渋谷区の「いま」をグラフや地図等のわかりやすい形で可視化を行う「シティダッシュボード」（令和4年2月末公開予定）について、掲載データの拡充やデータカタログ機能の整備等を行い、共創型のまちづくりのツールとしての利便性・実用性の向上を図る。</li> <li>・データ連携機能の強化 また、街の課題や可能性をより多角的により深く分析し、今後の施策開発につなげるために、行政・行政外のステークホルダーが保有するデータの共有・連携を可能にする機能拡張を行い、データ基盤の機能を強化する。</li> </ul> </li> <li>◆スマートシティ推進に向けた産官学民連携体制の構築 社会課題解決と街の価値向上に向け、産官学民でのデータ共有や、急速に進展するデジタル技術を活用した街中での新たな技術・サービスの実証・実装を促進する産官学民連携体制を構築し、スマート化に向けた環境整備を図る。</li> <li>◆社会価値創出の循環モデルの構築 持続的なスマート化推進に向け、渋谷区が抱える課題の解決や将来像の実現を共に実践するパートナーやリソースを広く募り、街の価値の創出・循環を目的とした「地域投資モデル」の設計・構築を行う。</li> </ul>	
特記事項		

担当

経営企画部副参事（スマートシティ推進担当課長） 加藤 ☎3463-1297

# スマートシティ推進事業



## データ連携・利活用の推進

シティダッシュボードを用いて行政・民間が保有するデータを相互に共有・利活用し、都市課題の解決を促進

## スマートシティ推進のための産官学民連携体制の強化

産官学民でのデータ共有、住民参加促進のための協議体を組成。地域課題解決、価値の高いサービスの創出を検討

## 社会価値創出の循環モデルの構築

スマートシティ推進による持続可能な社会価値創出を行うための循環型モデルを構築

**シティダッシュボード**  
**令和4年2月末 公開・順次拡充**

渋谷区の「いま」を明らかにし、「これから」の渋谷を考える

# 令和4年度当初予算案事業シート

基本構想ビジョン		ビジョン【関連ビジョン】
それぞれの成長を、一生よろこべる街へ。		A
事業名		予算
学校施設長寿命化計画に基づく学校施設整備		1億600万円
事業目的	事業概要	
<p>令和2年度に策定した渋谷区学校施設長寿命化計画に基づき、主体的・対話的で深い学びを支援する教育環境を確保しつつ、安全・安心で児童・生徒の成長を支える場にふさわしい学校施設を整備する。整備に当たっては、新たな学校施設の未来像を念頭に置き、老朽化対策と質的向上を一体的に行う。</p> <p>また、個々の学校の整備に当たっては、学校関係者や地域等との合意形成を図りながら、各学校の実情にあった基本計画を作成する。</p>	<p>本区の学校施設は、多くの建物が1960年代から1970年代にかけての児童・生徒数の急増に対応するため建設されたものであり、約75%が建築後30年を経過している。安全・安心に学校生活を過ごせるよう、限られた財源の中で老朽化対策を計画的に実施することが重要であり喫緊の課題となっている。</p> <p>学校施設整備に当たっては、新たな学校施設の未来像を描き、学校関係者や地域等とビジョンを共有しながら「ちがいを“ちからに変えること”ができる次世代人材を育む」学校施設を整備する。</p> <p>◆ 学校施設の未来像</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Learning Place（ラーニングプレイス） これまでの一斉授業のほかプレゼンテーションやディベート、対話・討論等のグループ学習、ICTの積極的な活用によるオンライン環境でのデジタルとフィジカルを融合した「つながる・広がる・深まる」多様な未来の学びの場をデザインする。</li> <li>・ Community Place（コミュニティプレイス） 学校施設開放や公共施設との複合化により、児童・生徒を含めた地域住民同士の交流の機会を創出する。また、災害時の避難所として、避難生活や災害対策に必要な機能を十分に整備し、常時から非常時への円滑な運用移行に対応する。</li> <li>・ Environment（エンバイロメント） 最先端の環境モデル拠点としてカーボンニュートラルやZEBなどを意識した学校施設をデザインし、児童・生徒のSDGsに対する理解を深め未来を生きる力を養う。</li> </ul> <p>◆ 所有地の活用も視野に入れながら、令和4年度から順次基本計画作成に着手する。</p>	
特記事項		

担当

教育委員会事務局副参事（学校施設整備調整担当課長） 堀江 ☎3463-2546

# 学校施設長寿命化計画に基づく学校施設整備

## 学校施設の未来像

ちがいを "ちからに 変えること" ができる次世代人材を育む

### Community Place

いつものコミュニティ  
もしものコミュニティ



### Learning Place

つながる・広がる・深まる  
学びの場

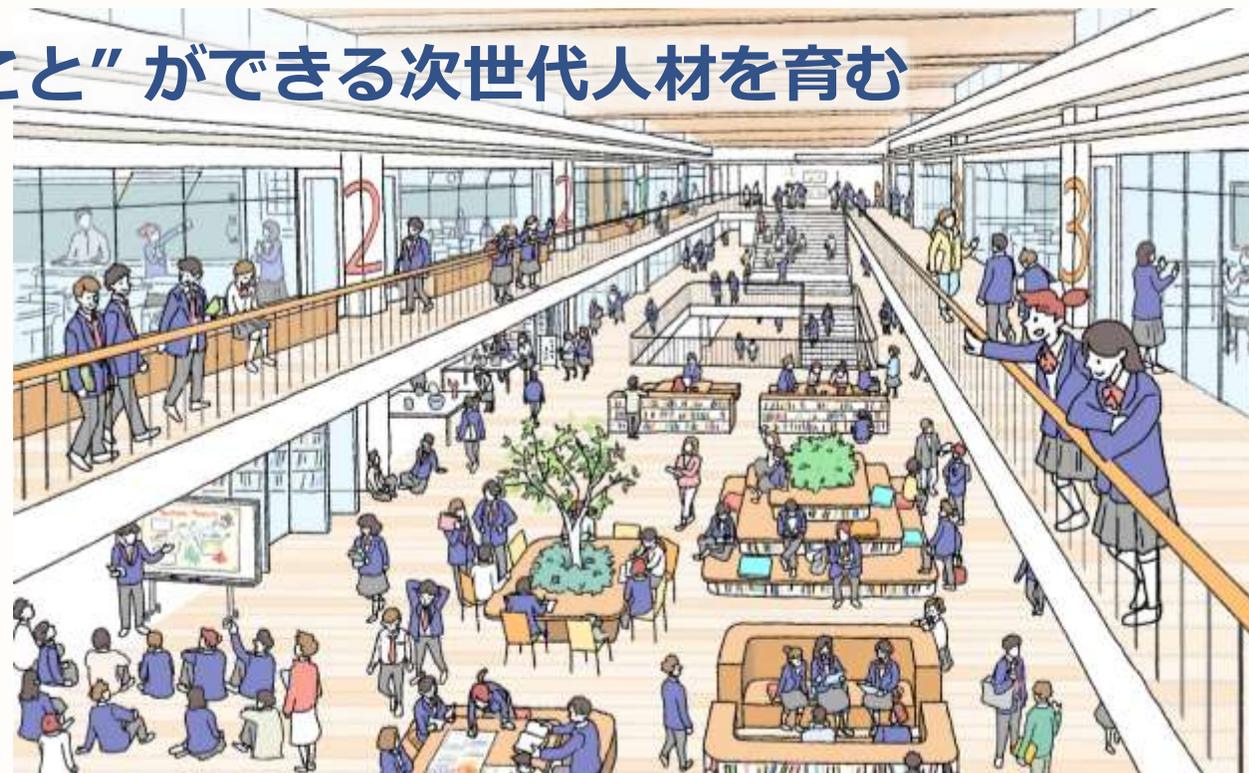


### Environment

最先端の  
環境モデル拠点



**Design** デザインの質を高める



令和4年3月策定のロードマップに基づく 未来を見据えた学校施設整備

# 令和4年度当初予算案事業シート

基本構想ビジョン		ビジョン【関連ビジョン】
思わず身体を動かしたくなる街へ。		C
事業名		予算
パラスポーツ・レガシー推進事業		6,400万円
事業目的	事業概要	
<p>区ではこれまで東京2020大会の渋谷区内及び隣接地開催競技を応援してきた。特に、認知度の低かったパラスポーツに力を入れて気運を醸成してきたことで、区民の認知度が上がり、応援に繋げることができた。</p> <p>東京2020大会終了後も、パラスポーツを中心に各競技の普及振興と障がい者理解の促進に取り組む。また、障がい者へのスポーツ機会の提供と、健常者もまじりあって多様な人々がスポーツとコミュニケーションを楽しむ場を整え、「ダイバーシティ・インクルージョン」「ちがいを ちからに 変える街。渋谷区」の実現を目指す。</p>	<p>◆ パラスポーツの普及・促進</p> <p>(1) 区長杯大会の継続実施（予定） 会場：渋谷区スポーツセンター</p> <p>①渋谷区長杯第5回パラバドミントン大会 7月24日（日）</p> <p>②渋谷区長杯第5回車いすラグビー大会 9月3日（土）、4日（日）</p> <p>③渋谷区長杯第2回パラ卓球大会 令和5年1月22日（日）</p> <p>(2) 国際大会支援及び区民観戦（予定）</p> <p>①ボッチャ 4月9日（土）、10日（日） 会場：東京体育館</p> <p>②パラバドミントン 11月1日（火）～6日（日） 会場：国立代々木競技場第一体育館</p> <p>③車いすラグビー 11月19日（土）、20日（日） 会場：国立代々木競技場第二体育館</p> <p>(3) パラスポーツフェスタ 10月2日（日）実施予定 会場：渋谷区スポーツセンター 各種パラスポーツ体験イベント</p> <p>(4) ボッチャ渋谷カップ 令和5年3月5日（日）実施予定 会場：渋谷区スポーツセンター ボッチャ区民大会</p> <p>(5) パラスポーツサークル 渋谷区スポーツセンター等でパラスポーツ教室を実施し、定期的な活動の場に繋げる</p> <p>◆ スポーツボランティアの育成 オリパラレガシーとして、スポーツボランティアの発掘・登録・スキルアップのための講座を実施し、パラスポーツ他区関連事業など活動の場を提供</p> <p>◆ Legacy Sports in School事業 区立小中学校へ各競技の選手又は指導者等を派遣して、講話、競技指導、選手との交流を実施 【競技】フェンシング、ハンドボール、パラスポーツ、陸上競技</p>	
特記事項		

**担当** スポーツ部オリンピック・パラリンピック推進課長 田中 ☎3463-1593

# パラスポーツ・レガシー推進事業

東京2020大会を契機としたパラスポーツ振興やボランティア活動等をレガシーとして継承



## パラスポーツの普及・促進

観る・体験する・応援する



## スポーツボランティアの育成

ボランティアのスキル向上・機会の提供



## Legacy Sports in School 事業

区内小中学生とトップアスリートとの交流



# 令和4年度当初予算案事業シート

基本構想ビジョン	ビジョン【関連ビジョン】
思わず身体を動かしたくなる街へ。	C【A】
事業名	予算
一般社団法人渋谷ユナイテッドとの連携	9,800万円

事業目的	事業概要
------	------

文部科学省は、生徒にとって望ましい部活動の環境の構築と学校の働き方改革も考慮したさらなる部活動改革の推進を目指し、その第一歩として、「令和5年度以降、休日の部活動を段階的に地域移行」する検討を進めていく方向性を示した。

渋谷区では、こうした流れに先駆けて、生徒のニーズに応える部活動の設置及び学校の働き方改革を見据えた部活動の実施を目的とした本区ならではの取り組みとして、「一般社団法人渋谷ユナイテッド」をその推進体制として整備し「部活動改革」を行う。

また、渋谷ユナイテッドは「部活動改革」をきっかけにし、地域スポーツ活動の活性化を推進するため、「総合型地域クラブ」への発展を目指していく。

◆生徒のニーズを踏まえた運動部・文化部の設置  
令和3年度に試行実施した「部活動改革」プロジェクトの実績を踏まえ、引き続き実施する。(R3:9種目 → R4:10種目)  
サッカー20人、ボウリング36人、ダンス30人、パラスポーツ(ポッチャ)24人、パソコン30人、将棋20人、硬式テニス30人、フェンシング20人、【新規】クッキング30人、ラグビー20人 合計260人

◆教員の負担軽減も考慮した運営体制の確保  
区にゆかりがある企業・団体の協力を得て、専門指導員を配置し、生徒への技術指導にあたる。  
部活動の運営にあたっては、「部活動マネージャー」を配置し、教師の負担とならないように進めていく。

◆地域スポーツ活動の活性化  
誰もが生涯にわたってスポーツを楽しめる総合型地域クラブへ発展させるとともに、自立的運営を図るための事業を開始する。  
令和4年度は、水泳と陸上の2種目の教室を実施予定。  
水泳は区内温水プールにて幼児等を対象とした教室を実施し、陸上は区内陸上競技場にて渋谷区にゆかりのある陸上競技選手と連携し、子どもから大人まで参加できる講習会や練習会を実施する。

**特記事項**



**担当** スポーツ部スポーツ振興課長 田中 ☎3463-1593

# 一般社団法人渋谷ユナイテッドとの連携



## シブヤ「部活動改革」プロジェクト



生徒の多様な  
ニーズへの対応



教員の負担軽減  
(学校の働き方改革)

「合同部活動」「地域部活動」の共同運営

## 地域スポーツ活動の活性化



幼児水泳教室



陸上 講習・練習会

「総合型地域クラブ」へと発展・連携

# 令和4年度当初予算案事業シート

基本構想ビジョン		ビジョン【関連ビジョン】
ビジネスの冒険に満ちた街へ。		G
事業名		予算
グローバル拠点都市推進事業		1億9,700万円
事業目的	事業概要	
<p>◆経緯・背景</p> <p>内閣府等が発表した「世界に伍するスタートアップ・エコシステム拠点形成戦略」において、渋谷区をメンバーに含む「東京コンソーシアム」が認定された。</p> <p>◆目的</p> <p>渋谷区の街が持つポテンシャルを生かし、スタートアップが育つ環境を整備する。</p> <p>国内のスタートアップ企業だけでなく、海外から優秀なスタートアップ企業を招致し、多様なエコシステム形成を目指す。</p> <p>◆効果</p> <p>日本で最も共創型のイノベーションを起こしやすい都市、人々が住みやすい都市になる。多くの企業の参入により、雇用の創出、経済の活性化が期待できる。</p>	<p>◆スタートアップ支援拠点</p> <p>渋谷区が支援するスタートアップ企業が利用できる民間シェアオフィスを提供する。本スペースは単なるシェアオフィスとしてだけでなく、官民連携の渋谷区コンソーシアム「Shibuya Startup Deck（通称「シブデッキ」）」の活動の拠点とする。シブデッキの会員である行政職員や大企業社員も利用可能とし、多様なコミュニティが生まれる場を作る。</p> <p>また、この拠点で様々なスタートアップ支援イベントや各種相談会等を実施することにより、スタートアップ企業の育ちやすい環境を作る。</p> <p>◆海外スタートアップ支援</p> <p>海外起業家に向けた起業支援として、スタートアップビザの取得を中心としたワンストップ窓口を設置している。令和4年度より、渋谷区が支援する海外起業家については日常生活の相談受付、銀行口座開設同行など、これまでの起業支援に加え、日本で安心して生活を送れるよう生活支援も実施していく。</p> <p>◆オープンイノベーションラボ開設に向けた実証</p> <p>産官学民が連携し社会課題・行政課題の解決を図る、オープンイノベーションラボの開設を検討している。開設に向けては、課題の抽出、データの活用、企業・大学の持つ技術・リソースの活用、実装など、多くの組織・資金・リソースを巻き込む必要があるため、各プロセスを実証しスムーズな開設を目指す。</p>	
特記事項		

# グローバル拠点都市推進事業



## スタートアップ支援拠点

Shibuya Startup Deck

支援するスタートアップ企業が利用可能な  
民間シェアオフィスを提供



## 海外スタートアップ支援

Smooth entry for foreign startups

「起業支援」に加えて「生活支援」も充実させ  
海外企業の招致を促進



## オープンイノベーションラボ

Open Innovation Lab Project

社会課題の解決を図るオープンイノベー  
ションラボ開設に向けた実証を推進

# 令和4年度当初予算案事業シート

基本構想ビジョン		ビジョン【関連ビジョン】
人のつながりと意識が未来を守る街へ。		D
事業名		予算
プラスチック資源回収事業		3億8,800万円
事業目的	事業概要	
<p>現在、海洋汚染や石油資源の枯渇、地球温暖化による気候変動など、プラスチックが与える地球環境への様々な影響が世界的に注目されている。</p> <p>プラスチックをごみとして処理することに伴う温室効果ガスの排出や最終処分場（埋立地）のひっ迫についても、解決すべき課題として挙げられ、国内外でプラスチックごみの削減、有効活用が求められている。</p> <p>区では、将来世代に負担をかけない環境を維持していくために、家庭から排出されるプラスチックを「資源」として有効活用することにより、ごみ減量、最終処分場の延命化を図り、さらに温室効果ガスの排出削減をはじめとした地球環境への負担軽減を図る。</p>	<p>◆プラスチックの分別回収</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開始時期 令和4年7月1日</li> <li>・分別区分 「可燃ごみ」から「資源」へ変更</li> <li>・回収対象 概ね30cm以内のプラスチック製品（ペットボトルを除く） →容器包装プラスチックと製品プラスチックを一括して回収</li> <li>・回収頻度 週1回（各地域の資源回収日と同一日）</li> <li>・回収場所 区内集積所</li> <li>・回収方法 容器包装プラスチックと製品プラスチックをまとめて同一袋で回収</li> </ul> <p>◆ごみ分別案内アプリの導入</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみ・資源に関する以下の機能を提供 <ul style="list-style-type: none"> <li>・品目ごとの分別検索機能（文字検索、写真検索）</li> <li>・地域別の収集日カレンダー</li> <li>・ごみの出し忘れ防止アラート（プッシュ通知対応）</li> <li>・清掃リサイクルに関する区からのお知らせ（事業紹介、清掃リサイクルの知識）</li> <li>・よくある質問（Q&amp;A）</li> </ul> </li> <li>・多言語対応として、英語・中国語・韓国語の3か国語の翻訳を実施</li> </ul>	
特記事項	23区内でも先例の少ない、全てのプラスチック類を一括して回収する。（実施区：千代田区、港区）	

担当

環境政策部清掃リサイクル課長 村山 ☎5467-4072

# プラスチック資源回収事業

01

プラスチック全般の分別区分を  
「可燃ごみ」から「資源」に変更

02

ごみ分別案内アプリの新規導入により  
区民の資源・ごみの分別をサポート

令和4年7月  
開始

## RECYCLE

Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit, sed diam nonummy nibh euismod tincidunt ut laoreet dolore magna aliquam erat volutpat. Ut wisi enim ad minim veniam, quis nostrud

# 令和4年度当初予算案事業シート

基本構想ビジョン		ビジョン【関連ビジョン】
人のつながりと意識が未来を守る街へ。		D【E】
事業名		予算
ふれあい植物センター リニューアル事業		1億6,900万円
事業目的	事業概要	
<p>ふれあい植物センターは、渋谷清掃工場の地域還元施設として平成17年度より運営してきたが、高温多湿の屋内環境に起因する施設の経年劣化が顕著となっている。地域還元施設として、これまで以上に活発な利用のための検討が必要である。</p> <p>これまでの「みどりの情報発信、普及啓発の拠点」「みどりのボランティアの活動の場」といった施設の位置づけを踏まえ、「農と食の地域拠点」という新たな視点のもと、栽培から収穫、消費までの機能を備えた新たな地域還元施設として整備することで、地域コミュニティの更なる形成促進とその活性化を図る。</p>	<p>◆施設概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・所在地：渋谷区東二丁目25番37号</li> <li>・敷地面積：553.82㎡</li> <li>・延べ面積：789.04㎡</li> <li>・規模/構造：地上4階/鉄骨造 耐火建築物</li> </ul> <p>◆事業内容</p> <p>施設設備の経年劣化など、施設の現状と課題を踏まえ、安全性の確保をはじめバリアフリーに配慮したリニューアル整備を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高温多湿状態の改善（温室をやめ、人間にとっての快適な温度の空間とする）</li> <li>・設備機器の新調、破損箇所の修理（環境配慮型LEDライトへの更新等）</li> <li>・日照条件の改善（植栽基盤を立体的にすることで植栽面積をより広く確保し、多くの植物が生育可能な環境を整える）</li> </ul>	
特記事項	<p>◆関連法令</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・渋谷区ふれあい植物センター条例</li> <li>・渋谷区ふれあい植物センター条例施行規則</li> </ul> <p>◆スケジュール（予定）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年 6月 改修工事着手</li> <li>・令和5年 4月 改修工事竣工</li> <li>・令和5年 7月 リニューアルオープン</li> </ul>	

# ふれあい植物センター リニューアル事業

地産地消  
ワークショップ

野菜等の栽培

参加型植物園

農や食に  
関する学習

ボタニック  
ショップ

カフェ  
レストラン

農と食の地域拠点

令和5年度 夏 オープン予定



# 令和4年度当初予算案事業シート

基本構想ビジョン		ビジョン【関連ビジョン】
愛せる場所と仲間を、誰もがもてる街へ。		E
事業名		予算
大山街道の街並みづくり		5,900万円
事業目的	事業概要	
<p>かつて大山詣の参拝客でにぎわい、街道として歴史のある大山街道（宮益坂、道玄坂）は、渋谷の目抜き通りとしてにぎわいを支え続け、新たなカルチャーを生み出してきた。渋谷駅中心地区では基盤等の整備が進んでいるが、今後は周辺地域との連携・相乗効果を生み出すまちづくりを進めていくことが必要となっている。</p> <p>そこで、大山街道においては、歩行者中心のウォークアブルな道づくりを推進し、にぎわいと回遊性のある、歩いて楽しい道路空間を創出するとともに、道路と沿道が一体となった街並みづくりを官民が連携して推進していく。</p>	<p>大山街道が渋谷にふさわしいプロムナードとなるよう、地域や学識経験者、関係事業者と連携して、街並みづくりの検討・調整を進めていく。</p> <p>宮益坂においては、道路空間の積極的な活用を見据えて、歩行者にとって魅力的な空間となるよう、歩道の拡幅や歩車道のフラット化を行う。また、宮益坂沿道が一体的なウォークアブルな空間を形成するよう沿道の開発と連携を図る。</p> <p>令和4年度より、宮益坂の一部区間の準備工事を行う。</p> <p>◆事業対象 宮益坂、道玄坂</p> <p>◆事業スケジュール 令和4年度以降 大山街道沿道にふさわしい街並みづくりの検討・関係者調整の継続 令和4年度 宮益坂（一部区間）の設計・準備工事 令和5年度 宮益坂（一部区間）の設計・工事 令和6年度 宮益坂（一部区間）の設計・工事</p>	
特記事項	より開かれた歩行者空間の創出に向け、沿道の開発と連携し、道路と空地が一体となった空間形成を推進する。	

担当

土木部道路課長 野田 ☎3463-2793

# 大山街道の街並みづくり



歩行者中心の街並み



にぎわい創出



安全・安心

# 令和4年度当初予算案事業シート

基本構想ビジョン		ビジョン【関連ビジョン】
愛せる場所と仲間を、誰もが持てる街へ。		E【D】
事業名		予算
玉川上水旧水路緑道再整備		5億4,800万円
事業目的	事業概要	
<p>玉川上水旧水路緑道は、緑と水の空間軸を形成する延長約2.6kmの都市公園であるとともに、生活道路としても側面を持った遊歩道である。</p> <p>現在の緑道は、昭和57年度から昭和60年度までに整備されたもので、40年近くにわたって地域住民に愛されてきたが、経年による施設の老朽化が進んでおり、豊かな緑を保全しつつ、新たなニーズに即した再整備が必要となっている。</p> <p>再整備に当たっては、地域住民と緑豊かな都市景観の形成、地域のにぎわいの創出などを図り、ササハタハツ（笹塚・幡ヶ谷・初台駅周辺）エリアの新たなまちづくりを牽引していくことを目的としている。</p>	<p>地域住民と対話を重ねる場として、令和2年度から延べ430人の方々に参加いただきながら開催してきた「ササハタハツ会議」や「出張座談会」などを令和4年度も引き続き実施する。また、仮設FARMを整備し運営の実証実験を行うなどして、集まった多くの意見を地域住民と共有しながら、新しい緑道のあり方を共に考えていく地域共創型の緑道としての整備を目指す。</p> <p>また、玉川上水旧水路緑道再整備のコンセプトである「FARM」は、「農」や「食」をテーマに地域の暮らしを豊かにするだけでなく、緑道から新たな「創造活動を育てる」という意味を持ち、地域の多様なコミュニティを育むことにより、地域に愛され、世界に誇れる緑道となるように取り組んでいく。</p> <p>併せて工事に支障となる電柱の地中化等や、東京都市計画道路特殊街路歩行者自転車道第1号線の見直しも行っていく。</p> <p>◆事業対象 玉川上水旧水路緑道 代々木緑道、初台緑道、西原緑道、幡ヶ谷緑道、大山緑道、笹塚緑道</p> <p>◆事業スケジュール 令和3年度 基本設計・詳細設計 令和4年度 詳細設計・工事着手（笹塚緑道等既存施設撤去工事）・電線類地中化予備設計・都市計画道路の見直し 令和5年度以降 詳細設計・工事の継続・電線類地中化詳細設計</p>	
特記事項	<p>様々な地域の意見を組み込みながら、デザイン性を追求するとともに、多様なエキスパートと連携し、民間事業者の活力導入やシティプライドの醸成につながる仕組みを作っていく。</p> <p>また、IoT等の新技術を導入し、次世代型のサービス提供及び安全・安心な公園管理を図っていく。</p>	
<b>担当</b>	土木部公園課長 中村 ☎3463-2735	

# 玉川上水旧水路緑道 再整備



Sasa  
Hata  
Hatsu  
farm

ササハタハツファーム



令和4年度 工事着手





# 令和4年度当初予算案事業シート

基本構想ビジョン		ビジョン【関連ビジョン】
愛せる場所と仲間を、誰もがもてる街へ。		E
事業名		予算
西参道プロジェクト		7億3,400万円
事業目的	事業概要	
<p>令和2年、明治神宮の鎮座100年を契機として、明治神宮へ通じる参道のひとつである西参道の道路と隣接する首都高高架下施設の整備を進めている。明治神宮周辺には表参道、西参道、北参道と3つの参道があり、西参道はにぎわいや文化交流の創出が課題となっている。</p> <p>そこで、明治神宮西門から甲州街道に至る区間を、参道に相応しい樹木や舗装など景観にも配慮した道路整備を進める。また、将棋文化の普及・振興を目的とした文化交流施設や都市公園等高架下施設の再整備を行い、令和5年度のグランドオープンを予定している。</p> <p>参道に相応しい景観や沿道環境の創出により、地域の活性化を図るとともに、新たな渋谷のコミュニティ拠点として地域の魅力向上につなげる。</p>	<p>◆高架下施設整備（施設名称：駒テラス西参道）</p> <p>現在の西参道自転車集積所や西参道児童遊園地等の高架下施設を再整備することにより、西参道エリアの将来像である「にぎわいや文化の交流を創出するまち」の実現、明治神宮と玉川上水旧水路緑道を結ぶ「みどりと水の空間軸」の形成に向けて、地域の活性化を図るとともに、新たな渋谷のコミュニティ拠点を創出する。</p> <p>・平面概要図</p>  <p>・施設ロゴマーク</p>  <p>・今後の予定 令和3年度 基本・実施設計 令和4年度 施設整備 令和5年度 グランドオープン</p> <p>◆西参道道路整備</p> <p>鎮座100年を迎えた明治神宮の西門から甲州街道に至る区間について、沿道のまちづくりと調和した参道に相応しい景観を備えた道路として整備する。令和4年度は、高架下施設前を含めた代々木4丁目側の整備を行う。</p> <p>・今後の予定 令和3年度 設計・工事 令和4年度 設計・工事 令和5年度 設計・工事</p>	
特記事項		
渋谷区と公益社団法人日本将棋連盟が相互協力に関する協定を締結（令和2年10月）		

# 西参道プロジェクト

将棋文化の発信・普及・振興拠点  
「駒テラス西参道」整備

高架下施設の再整備等によるまちのにぎわい創出

明治神宮の参道に  
相応しい道路整備

## 明治神宮西門から続く参道の整備



## 都市公園のリニューアル



## 首都高高架下の利活用



# 令和4年度当初予算案事業シート

基本構想ビジョン	ビジョン【関連ビジョン】
あらたな文化を生みつづける街へ。	F
事業名	予算
広報資料デジタルアーカイブ	4,600万円

事業目的	事業概要
<p>本事業は、デジタル化による区政資料の保存・蓄積・継承という役割を担い、加えて、専用サイトを通じた国内外への区政資料公開により、区民や渋谷に関心を持つすべての人に対する魅力的な情報発信につなげていく。</p> <p>対象となる資料は、昭和23年から平成28年までの区広報紙及び昭和30年代以降の「広報取材写真」であり、歴史を紐解く写真と区広報紙の公開を通じて区民のシティプライド醸成に寄与する。</p> <p>また、近年の渋谷駅周辺再開発などにより本区が保有する時代を反映した写真への関心が高まっており、区制90周年を契機とすることで利活用の促進を図る。</p>	<p>◆資料デジタル化 紙媒体で保管されている資料をスキャンし適切なデジタルデータにすることで、区政資料としての保存を担保する。また、デジタルデータに、年代や場所、OCRによるテキストなどの情報を付与することで、検索性を高め、活用を促進する。 【対象資料】 ・区広報紙 昭和23年6月30日～平成28年3月15日発行分 ※既に区ウェブサイトに掲載されている広報紙を除く ・広報取材写真(昭和30年頃以降のもので約10,000点)</p> <p>◆サイト構築 データの検索性やアーカイブの利用方法などについては、利便性を重視した専用サイトを構築する。本区らしいコンセプトをサイトデザインなどで表現し、新たな発見を生む情報源となることを目指す。また、区SNSとも連携し、イベントなどに合わせた関連資料や過去の写真のタイムリーな周知を可能にする。</p> <p>◆サイト公開 区制90周年にあたる令和4年度中に公開予定。データのアップロードは段階的に行う。</p> <p>◆周知 サイト公開時にはオウンドメディアなどを活用して周知を図り、利活用を促す。 ・想定媒体:区ウェブサイト、区広報紙、区SNS、区役所本庁内デジタルサイネージなど</p>
特記事項	
<p>広報資料の専用ウェブサイト公開は、渋谷区で初めての試みとなる。</p>	

**担当** 経営企画部広報コミュニケーション課長 豊田 ☎3463-1287



# 広報資料 デジタルアーカイブ



アナログ資料の**データ化**  
(過去の写真・広報紙など)



アーカイブサイトの  
構築・公開



渋谷区の**魅力**を国内外に  
発信



渋谷区ニュース

NO.1

昭和48年4月10日発行

発行所

東京都渋谷区役所



新しいお友達も渋谷ふえて

渋谷区にニュース  
発行にあたって  
渋谷区役所  
広報課



# 令和4年度当初予算案事業シート

基本構想ビジョン	ビジョン【関連ビジョン】
あらゆる人が、自分らしく生きられる街へ。	B
事業名	予算
高齢者デジタルデバインド解消事業	3億3,300万円

事業目的	事業概要						
<p>ウィズコロナ時代に求められる「新しい生活様式」では、スマートフォンなどのデジタル機器が生活の質（QOL）を向上させる重要な役割を担うことが期待されており、とりわけ高齢者のデジタルデバインド（情報格差）の解消は喫緊の課題となっている。高齢者のデジタル機器の利用を促進し、支援することにより、デジタルデバインドを解消し、高齢者の健康増進及び安全・安心の確保につなげ、生活の質の向上を目指す。</p> <p>また、区で育成した「デジタル活用支援員」を活用し、デバイスに慣れ親しむ環境を提供する。</p>	<p>◆実証事業（スマートフォンの貸与）期間 令和3年9月から令和5年8月まで ※通信料・通話料は区が負担</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%; padding: 5px;">令和3年度 【貸与開始】</td> <td style="padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 設定や基本操作をサポート スマートフォン被貸与者 約1,500人（令和3年12月末現在）</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">令和4年度 【多様な活用支援】 ※太字は4年度開始</td> <td style="padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 被貸与者専用コールセンター（平日9:00～17:00）※遠隔によるサポートの実施</li> <li>・ 被貸与者向け必修講座、個別相談会の実施</li> <li>・ 無料相談窓口「なんでもスマホ相談」（区内11会場、予約制、概ね60歳以上の高齢者が対象）</li> <li>・ <b>テーマ別講座の実施（概ね60歳以上の高齢者が対象）</b>  <b>基本操作、LINE・Twitter・InstagramなどのSNS、YouTube、防犯・防災、キャッシュレス等、高齢者のニーズに合わせた様々なアプリやサービス等の使い方を紹介</b></li> <li>・ <b>デジタル活用支援員による無料相談窓口</b>（区内3会場、予約制、被貸与者を対象としてスタート）</li> <li>・ <b>スタートアップ企業アプリ「脳にいいアプリ」と連携し、</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>①家族サービス機能を追加した「見守り」の強化</li> <li>②介護予防・健康増進プログラムの実施（ポイント付与、PayPayボーナスへの交換）</li> </ol> </li> <li>・ <b>デジタル地域通貨事業と連携したキャッシュレスサービスの促進</b></li> </ul> </td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">令和5年度</td> <td style="padding: 5px;">8月終了</td> </tr> </table> <p>◆産官学による効果検証 スマートフォンやアプリの利用状況等収集したデータを、個人が特定できない形式で分析し、区の施策全般に活用（KDDI株式会社、津田塾大学）</p> <p>◆デジタル活用支援員の活用 区内在住・在勤・在学で、区の研修を受講し認定試験に合格した人をデジタル活用支援員として登録講座や相談窓口、地域のスマートフォン勉強会等の相談員や講師として活用</p>	令和3年度 【貸与開始】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 設定や基本操作をサポート スマートフォン被貸与者 約1,500人（令和3年12月末現在）</li> </ul>	令和4年度 【多様な活用支援】 ※太字は4年度開始	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 被貸与者専用コールセンター（平日9:00～17:00）※遠隔によるサポートの実施</li> <li>・ 被貸与者向け必修講座、個別相談会の実施</li> <li>・ 無料相談窓口「なんでもスマホ相談」（区内11会場、予約制、概ね60歳以上の高齢者が対象）</li> <li>・ <b>テーマ別講座の実施（概ね60歳以上の高齢者が対象）</b>  <b>基本操作、LINE・Twitter・InstagramなどのSNS、YouTube、防犯・防災、キャッシュレス等、高齢者のニーズに合わせた様々なアプリやサービス等の使い方を紹介</b></li> <li>・ <b>デジタル活用支援員による無料相談窓口</b>（区内3会場、予約制、被貸与者を対象としてスタート）</li> <li>・ <b>スタートアップ企業アプリ「脳にいいアプリ」と連携し、</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>①家族サービス機能を追加した「見守り」の強化</li> <li>②介護予防・健康増進プログラムの実施（ポイント付与、PayPayボーナスへの交換）</li> </ol> </li> <li>・ <b>デジタル地域通貨事業と連携したキャッシュレスサービスの促進</b></li> </ul>	令和5年度	8月終了
令和3年度 【貸与開始】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 設定や基本操作をサポート スマートフォン被貸与者 約1,500人（令和3年12月末現在）</li> </ul>						
令和4年度 【多様な活用支援】 ※太字は4年度開始	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 被貸与者専用コールセンター（平日9:00～17:00）※遠隔によるサポートの実施</li> <li>・ 被貸与者向け必修講座、個別相談会の実施</li> <li>・ 無料相談窓口「なんでもスマホ相談」（区内11会場、予約制、概ね60歳以上の高齢者が対象）</li> <li>・ <b>テーマ別講座の実施（概ね60歳以上の高齢者が対象）</b>  <b>基本操作、LINE・Twitter・InstagramなどのSNS、YouTube、防犯・防災、キャッシュレス等、高齢者のニーズに合わせた様々なアプリやサービス等の使い方を紹介</b></li> <li>・ <b>デジタル活用支援員による無料相談窓口</b>（区内3会場、予約制、被貸与者を対象としてスタート）</li> <li>・ <b>スタートアップ企業アプリ「脳にいいアプリ」と連携し、</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>①家族サービス機能を追加した「見守り」の強化</li> <li>②介護予防・健康増進プログラムの実施（ポイント付与、PayPayボーナスへの交換）</li> </ol> </li> <li>・ <b>デジタル地域通貨事業と連携したキャッシュレスサービスの促進</b></li> </ul>						
令和5年度	8月終了						

特記事項

<b>担当</b>	福祉部高齢者福祉課長 平澤 ☎3463-1865
	福祉部生涯活躍推進課長 横手 ☎6451-1417

# 今年度の渋谷区の実施

## 子育て施策



渋谷区子育てネウボラ 開設

## 障がい者施策



一般社団法人シブヤフォント 設立

## 教育施策



教育ICTの先駆的推進

## 高齢者施策



高齢者  
デジタルデバイス  
解消事業 開始



ちがいを  
ちからに  
変える街。  
渋谷区

# 高齢者デジタルデバイス解消事業

令和3年  
9月

スマートフォン無料貸与  
講習会等のスマホ活用支援 **開始**



令和4年度  
以降

- 区内**スタートアップ**企業との連携による**健康増進プログラム**
- 区内**大学**との連携によるスマホ利用**データの分析・活用**
- **デジタル活用支援員**の活用

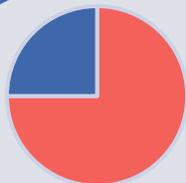


QOL  
向上

令和3年  
12月

約 **1,500** 名が継続活用中

スマホ利用の生活への影響



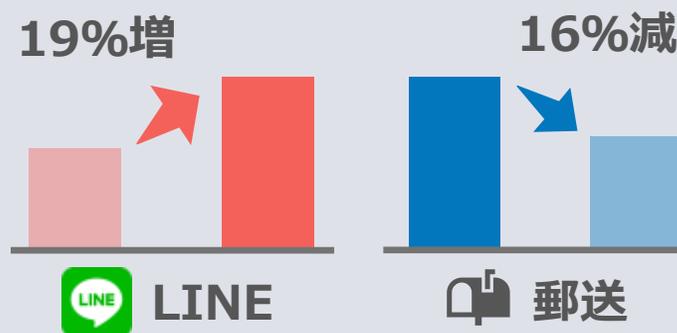
75% の高齢者が  
「**良い影響があった**」  
と回答

- ・ 地方にいる孫とビデオ通話ができる
- ・ レシピアプリで料理の楽しみが増えた
- ・ 3回目のワクチン予約がスムーズにできた 等

災害時に情報を得る手段



区からの連絡方法で希望する手段



# Appendix



# 当初予算案概要

## 財政規模

(単位：百万円・%)

区分	令和4年度	令和3年度	増減額	増減率
一般会計	106,267	99,449	6,818	6.9
特別会計	48,954	45,559	3,395	7.5
国民健康保険事業会計	25,485	23,989	1,496	6.2
介護保険事業会計	16,752	15,593	1,159	7.4
後期高齢者医療事業会計	6,717	5,977	740	12.4
合計	155,221	145,008	10,213	7.0

## 歳入内訳

(単位：百万円・%)

区分	令和4年度		令和3年度		増減額	増減率
	予算額	構成比	予算額	構成比		
特別区税	53,471	50.3	49,901	50.2	3,570	7.2
地方譲与税	416	0.4	407	0.4	9	2.2
地方消費税交付金	7,865	7.4	8,162	8.2	△ 297	△ 3.6
地方特例交付金	90	0.1	97	0.1	△ 7	△ 7.2
特別区交付金	2,500	2.4	1,500	1.5	1,000	66.7
分担金及び負担金	813	0.8	839	0.8	△ 26	△ 3.1
使用料及び手数料	6,089	5.7	6,031	6.1	58	1.0
国庫支出金	16,619	15.6	15,773	15.9	846	5.4
都支出金	7,934	7.5	7,140	7.2	794	11.1
繰入金	2,500	2.4	3,000	3.0	△ 500	△ 16.7
繰越金	1,780	1.7	1,737	1.7	43	2.5
その他の歳入	6,190	5.8	4,862	4.9	1,328	27.3
合計	106,267	100.0	99,449	100.0	6,818	6.9

# 歳出内訳（一般会計）

## 款別内訳

(単位：百万円・%)

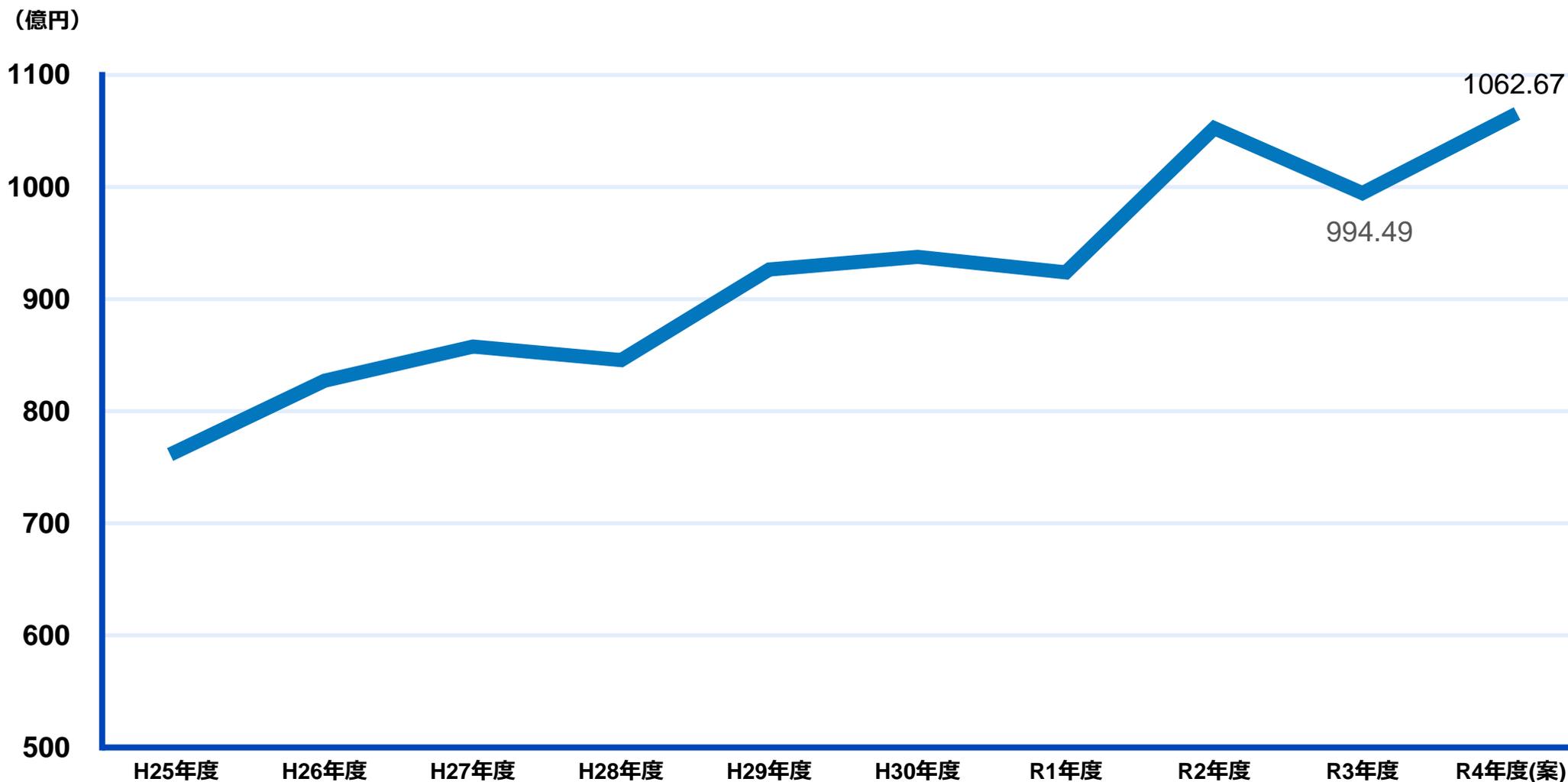
区 分	令和4年度		令和3年度		増減額	増減率
	予算額	構成比	予算額	構成比		
総務費	18,422	17.3	16,403	16.5	2,019	12.3
民生費	48,730	45.9	47,952	48.2	778	1.6
衛生費	6,495	6.1	6,978	7.0	△ 483	△ 6.9
環境費	5,522	5.2	5,118	5.1	404	7.9
産業経済費	1,748	1.6	1,273	1.3	475	37.3
土木費	11,944	11.2	8,186	8.2	3,758	45.9
教育費	11,167	10.5	11,004	11.1	163	1.5
公債費	1,072	1.0	1,335	1.3	△ 263	△ 19.7
その他	1,167	1.1	1,200	1.3	△ 33	△ 2.8
合 計	106,267	100.0	99,449	100.0	6,818	6.9

## 性質別内訳

(単位：百万円・%)

区 分	令和4年度		令和3年度		増減額	増減率
	予算額	構成比	予算額	構成比		
義務的経費	45,879	43.2	46,928	47.2	△ 1,049	△ 2.2
人件費	18,993	17.9	19,424	19.5	△ 431	△ 2.2
扶助費	25,814	24.3	26,169	26.3	△ 355	△ 1.4
公債費	1,072	1.0	1,335	1.3	△ 263	△ 19.7
普通建設事業費	13,577	12.8	8,049	8.1	5,528	68.7
その他の経費	46,811	44.1	44,472	44.7	2,339	5.3
物件費	29,953	28.2	28,418	28.6	1,535	5.4
補助費等	7,576	7.1	7,672	7.7	△ 96	△ 1.3
繰出金	7,960	7.5	7,248	7.3	712	9.8
その他	1,322	1.2	1,134	1.1	188	16.6
合 計	106,267	100.0	99,449	100.0	6,818	6.9

# 一般会計財政規模の推移



財政規模(億円)

増減率

H25年度 H26年度 H27年度 H28年度 H29年度 H30年度 R1年度 R2年度 R3年度 R4年度(案)

764.10 827.10 857.60 845.52 926.52 937.68 923.95 1052.49 994.49 1062.67

-4.9% 8.2% 3.7% -1.4% 9.6% 1.2% -1.5% 13.9% -5.5% 6.9%



令和4年度（2022年度）  
渋谷区 当初予算案 概要

令和4年2月4日 記者発表資料

渋谷区 広報コミュニケーション課

☎ 03-3463-1287

✉ sec-koho@shibuya.tokyo

<https://www.city.shibuya.tokyo.jp/>